

フリースクール等の運営実態調査業務委託仕様書

1 委託業務名

フリースクール等の運営実態調査業務

2 委託事業の目的

県内で活動するフリースクール（※1）等を対象とした運営実態調査を実施することで、フリースクール等の経営状況や利用する児童生徒、保護者への支援内容、学校との連携状況等を把握し、今後の支援のあり方を検討するもの。

（※1） 一般に、不登校の子供（※2）に対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設を指す。その規模や活動内容は多種多様であり、民間の自主性・主体性の下に設置・運営されているもの。（出典：文部科学省ホームページ）

（※2） 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く。）かつ、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒（出典：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」）

3 委託期間

契約締結の日から令和7年8月29日（金）まで

4 委託業務の内容

（1）調査票の作成、アンケート調査の実施

県内で活動するフリースクール等を対象に、アンケート調査を実施（調査対象は県にて選定（30箇所程度を想定））。

<想定される調査項目>

① 施設概要（法人形態、設立目的、併設事業の実施状況等）、②支援内容、③開所日数・時間、④在籍者の状況（学年、居住市町村、出席扱いの有無、進路等）、⑤スタッフの状況（資格の有無、人件費等）、⑥授業料・入会金、⑦経営状況・収支、⑧学校等との連携状況、⑨不登校児童生徒が利用するにあたっての課題や利用による成果 等

※最終的な調査項目は、県と受託者による協議のうえ決定する。

※調査票の作成、発送は受託者が行う。

※調査票とともに、法人等のパンフレットや資料の収集を行う。

（2）現場訪問・ヒアリング調査の実施

（1）のアンケート調査で聴取された内容について、より詳細に状況や考えを把握するために、現場訪問によるヒアリング調査を実施。

※（1）のアンケート調査で訪問可能とされた施設で実施する（30箇所程度が限度）。

※ヒアリング調査には県職員も同行する。

(3) 調査結果の集計、分析、調査報告書の作成

- ・各設問の単純集計（必要に応じて設問間クロス集計）を実施する。
- ・集計結果から読み取れる客観的な事実や特徴的な事実、傾向などを分析する。
特に経営状況・収支については、法人種別や施設規模（在籍者数）との関連性、赤字の場合の補填状況（自己資金、寄付、他事業からの補填等）、スタッフ（有資格者）数との関連性等について触れること。
- ・レイアウトのほか、図表やグラフ等について、視覚的に分かりやすいものとする。
- ・ヒアリング時の聞き取り内容について、要点をまとめる。
- ・調査結果を踏まえた、富山県でのフリースクールの運営者に対する支援に向けた具体的な提言を盛り込む。
- ・調査報告書のほか、調査報告書の概要版も作成する。

5 その他、業務執行上の留意点

- ・委託業務の実施にあたっては、発注者と協議及び打合せを十分に行い、業務を進めること
- ・業務の受注にあたり入手した個人情報等は、本事業の目的以外には一切使用しないものとする。
- ・この仕様書に定める業務内容の詳細については、発注者の指示に従うこと。また、この仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と協議すること。
- ・本仕様書は、プロポーザル用であり、採用候補者とは、内容を協議の上、契約を締結するものとし、契約内容については、協議の中で企画提案書の内容から変更・修正する場合があること。